

概要版

笛吹市都市計画 マスタープラン

笛吹市の都市計画に
関する基本的な方針

令和3年3月
笛吹市

「笛吹市都市計画マスタープラン」は、およそ20年後をみ
すえ、笛吹市の将来あるべき都市像やまちづくりの基本的
な方向性を定めたものです。

本市では、平成21年3月に「笛吹市都市計画マスター
プラン」を策定し、これまで、この計画に基づいてまちづくり
の様々な施策を行ってきました。

計画策定から概ね10年が経過し、その間に上位計画・
関連計画の策定や見直し、リニア中央新幹線の整備の具
体化、急速な人口減少・少子高齢化の進行など、社会経済
環境も大きく変化してきています。

こうした中、これからも市民が安全・安心に暮らすことが
できる持続的な都市であり続けるためには、従来の成長拡
大型の都市づくりから、新しい成熟型のまちづくりへの転換
が求められています。

そのため、新たな都市像の具現化と、まちづくりを総合
的・一体的に推進することを目的に、都市計画マスター
プランの見直し・改定を行ないました。

1. まちづくりの将来像

■ まちづくりの将来像

■ 笛吹市の将来像

ハートフルタウン笛吹

～優しさあふれるまち～

■ まちづくりの理念と目標

<まちづくりの理念>

桃源郷の地に抱かれて、ふるさとに愛着と誇りを感じ、
いつまでも住み続けられるまちづくりをめざします。



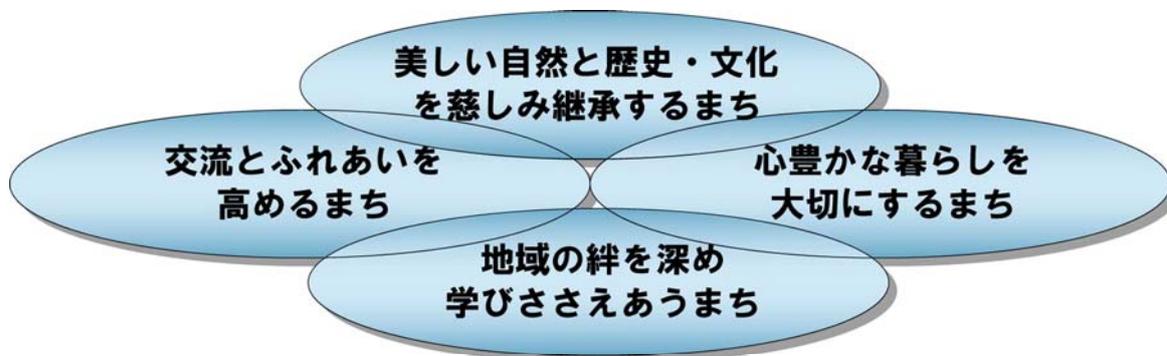
本市は、古代の甲斐国の中心地、江戸時代の宿場町として栄え、今日では、全国有数の桃やぶどうの産地、県内有数の温泉観光地として発展してきました。

豊かな自然と美しい景観、数多くの観光資源や歴史・文化資源など、市域全体が、さながら風景博物館・桃源郷としての魅力をもっています。

現在、リニア中央新幹線や中部横断自動車道、新山梨環状道路等の整備が進められており、新たな発展が期待されています。

これらの動向を的確に見据え、本市が誇る魅力を再認識し、積極的に活かしていくことにより、ふるさとに愛着と誇りを感じ、いつまでも住み続けられるまちづくりを目指します。

<まちづくりの目標>



■ 目標年次・目標人口

●目標年次：令和10年度（2028年度）

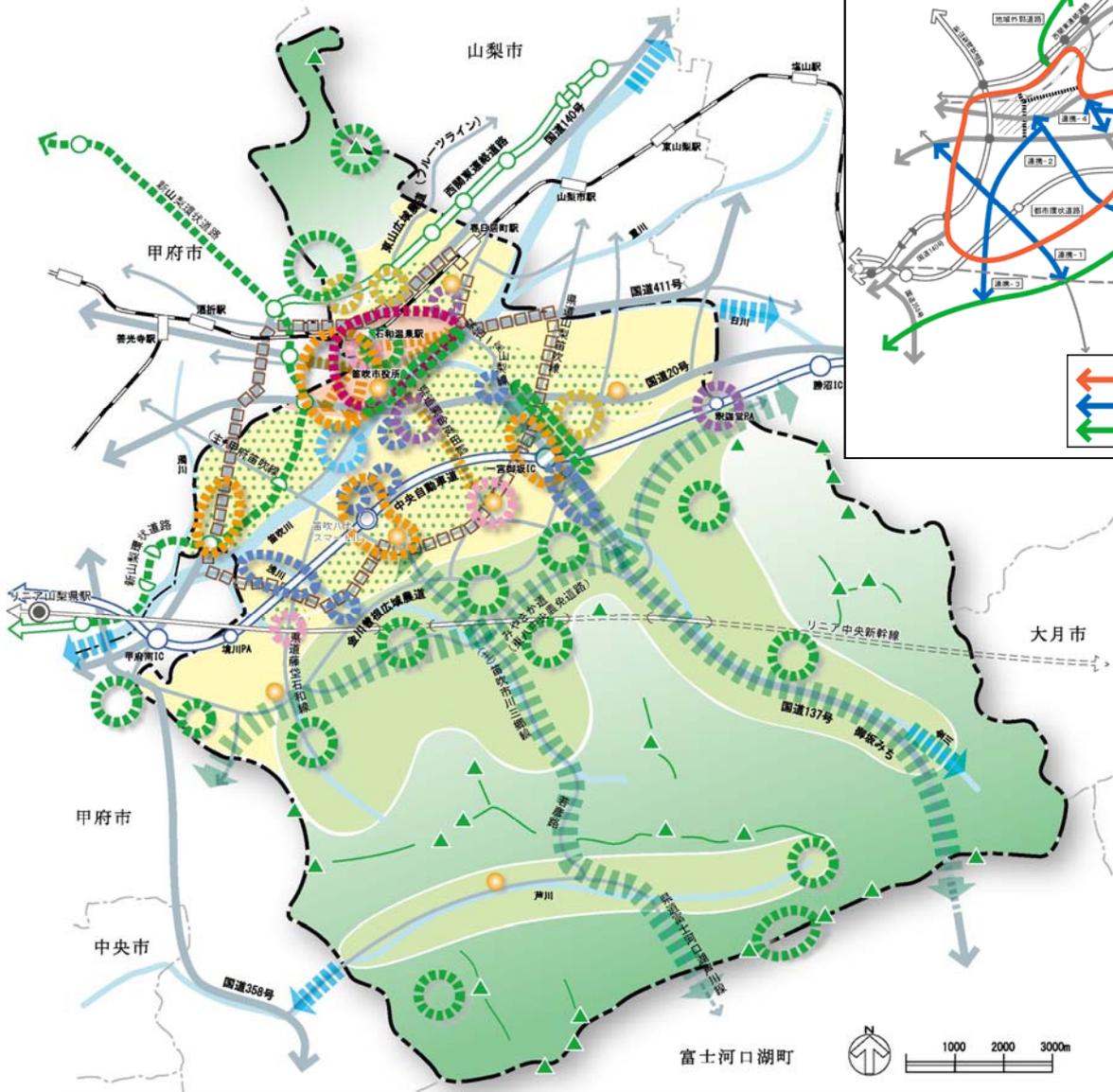
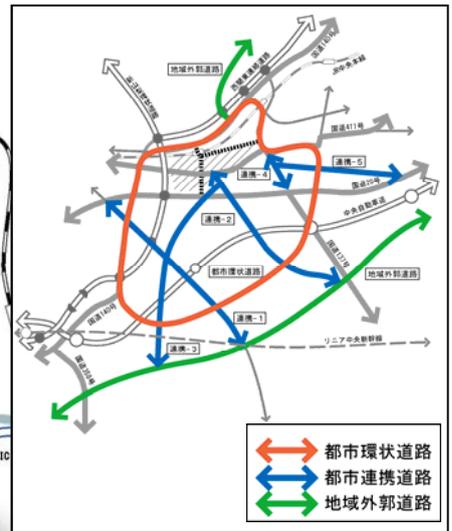
●目標人口：66,900人（令和10年度（2028年度））

2. 笛吹市の将来都市構造

豊かな自然と大地の構造を土台に、コンパクトな都市構造の形成を図ります。

- 中心市街地をはじめ、個性と活力ある多彩な拠点づくりを進めます
- 周辺都市や地域間、拠点間を結ぶ骨格道路網の強化と、交流軸を形成します
- コンパクトな市街地と地域の特性に応じた土地利用エリアの形成を図ります

＜骨格道路網の構成＞



凡例			
拠点	交流軸	骨格となる道路網	土地利用エリア
<ul style="list-style-type: none"> 中心市街地 市役所・支所 観光レクリエーション拠点 文化拠点 歴史文化拠点 歴史景観拠点 産業拠点 生活ゾーン 新たな都市機能誘導ゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> 水と緑の軸 にぎわい軸 ふるさと交流軸 	<ul style="list-style-type: none"> 高規格道路 地域高規格道路 リニア中央新幹線 広域幹線道路 主な幹線道路 環状道路 山地 	<ul style="list-style-type: none"> 市街地エリア 樹園居住エリア (都市型) 樹園居住エリア (農村型) 里山交流エリア 森林エリア

3. 分野別まちづくり方針

分野別まちづくり方針は、まちづくりを構成する分野を7つに分け、分野ごとに基本方針や個別のまちづくり方針を定めています。

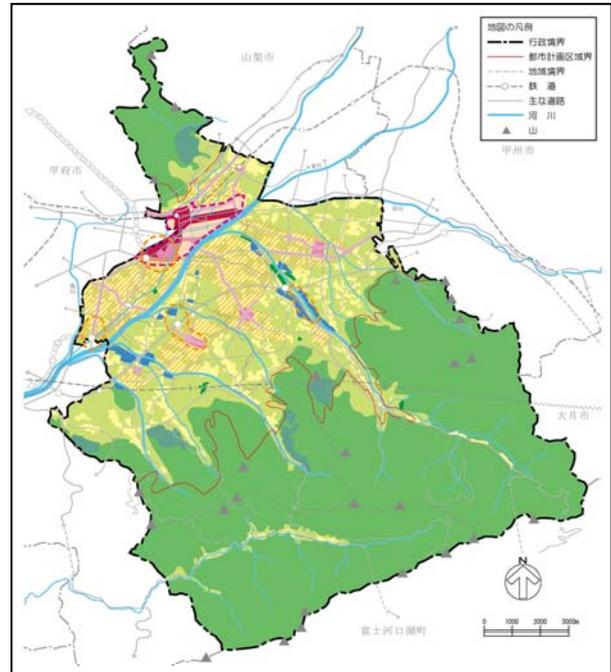
(1) 土地利用の方針

笛吹市の地形構造に沿ったコンパクトな都市づくりと、自然、農村、都市が共生し、地域の特性に応じた計画的な土地利用を進めます。

活気ある中心市街地の形成と多様な拠点の育成／宅地化が進む郊外地域の計画的な土地利用の推進／農地の保全・活用と良好な集落環境の維持・向上／豊かな自然環境の保全と自然とのふれあいの場としての利用促進

凡例

住居系	商業・産業系	自然系
市街地ゾーン	中心商業地ゾーン	農地保全ゾーン
樹園住宅地ゾーン	近隣サービスゾーン	森林ゾーン
農業集落地ゾーン	沿道型店舗業務ゾーン	観光レクリエーション拠点
	沿道生活サービスゾーン	その他（ゴルフ場等）
	主要工業地ゾーン	新しい中心市街地
	新たな都市機能誘導ゾーン	



(2) 道路・交通まちづくり方針

体系的な道路交通ネットワークの構築や公共交通の強化を図るとともに、安全で快適な暮らしのみちづくりを進めます。

広域からのアクセス向上と周辺都市や拠点間を結ぶ幹線道路網の強化／駅などの主要な交通拠点の機能強化や公共交通の利用促進／誰もが安全・安心、快適に利用できる暮らしの道づくりの推進

(3) 水と緑のまちづくり方針

郷土の豊かな自然を大切に守り・育み、果実と花とみどりによる彩りあるまちづくりを進めます。

豊かな自然の保全と自然とのふれあいの場づくり／多彩な水と緑の拠点とネットワークづくり／花と緑に抱かれたうるおいあるまちづくり／協働による水と緑のまちづくり

(4) 景観まちづくり方針

桃源郷の美しい風景を守り、愛着と誇りのもてる景観まちづくりを進めます。

桃源郷の美しい風景の保全とまちづくりへの活用／“笛吹市らしさ”を感じさせる特色ある景観まちづくり／協働による景観まちづくり

(5) 観光まちづくり方針

“温泉と果実のまちづくり”をテーマに、都市全体が個性と魅力を発揮する観光まちづくりを進めます。

“温泉と果実のまち”の核となる温泉市街地の魅力の向上と活性化／「桃・ぶどう日本一」を誇る、美しく活気のあるまちづくり／都市そのものが観光資源となる魅力あるまちづくり

(6) 防災まちづくり方針

水害や地震などの災害に強く、安全・安心に暮らせるまちづくりを進めます。

水害や土砂崩れなどに対する安全対策の強化／水害、地震・火災など、災害に強いまちづくり／市全体、地域ぐるみによる防災まちづくりの推進

(7) 安心・快適な住環境づくりの方針

＜生活環境と住まいづくりの方針＞

心豊かな暮らしを大切にし、いつまでも住み続けられる安心・快適な住まいと住環境づくりを進めます。

暮らしに身近な住環境の改善整備と充実／定住・移住を促進する良質な住まいづくり

＜人にやさしい福祉のまちづくり方針＞

高齢者も障がい者も誰もが安心して暮らせる人にやさしい福祉のまちづくりを進めます。

公共施設等のユニバーサルデザインの導入／安心して暮らせる福祉の環境づくり／協働による福祉のまちづくり

＜環境に配慮したまちづくり方針＞

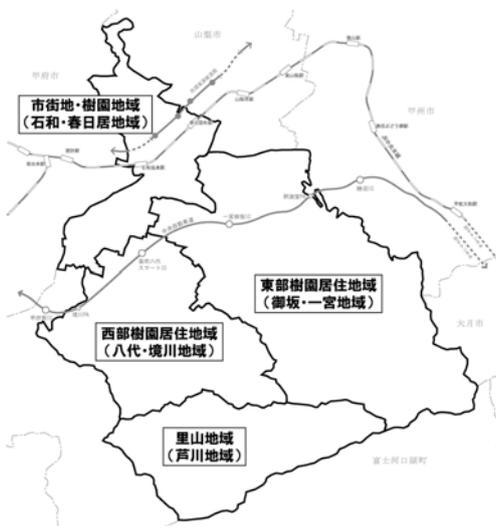
限りある資源を大切にす循環型社会の構築を目指し、環境に配慮したまちづくりを進めます。

自然環境に配慮したまちづくり／省エネルギー・リサイクル・再生可能エネルギー活用の推進／協働による環境に配慮したまちづくり

4. 地域別まちづくり方針

地域別まちづくり方針は、笛吹市を4つの地域に分け、地域ごとに将来像や目標、基本方針や個別の地域まちづくり方針を定めています。

■ 地域区分



■ 方針図凡例



(1)市街地・樹園地域 (石和・春日居地域)

まちづくりの目標

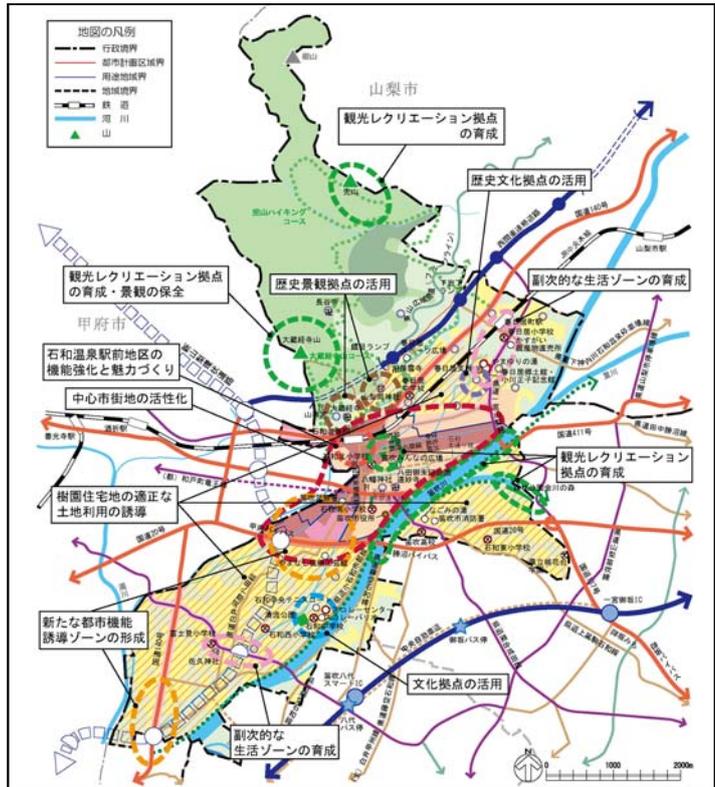
- 豊かな水、緑、温泉を活かしたまちづくり
- 地域の絆を育むまちづくり
- 学び・ふれあいを高めるまちづくり

まちづくりの基本方針

- ①本市の顔、観光の中心である中心市街地の整備・活性化
- ②特色あるまちの拠点の育成と地域の活性化
- ③本市の中心地域にふさわしい郊外地域の計画的な土地利用の推進
- ④骨格道路網の形成と交通利便性の向上
- ⑤災害に強く、安心・快適な住環境の整備・改善・充実
- ⑥日本農業遺産である桃源郷の景観や歴史文化資源の保全とまちづくりへの活用

将来像

豊かな水と緑に抱かれた心ふれあうまち



(2)東部樹園居住地域 (御坂・一宮地域)

まちづくりの目標

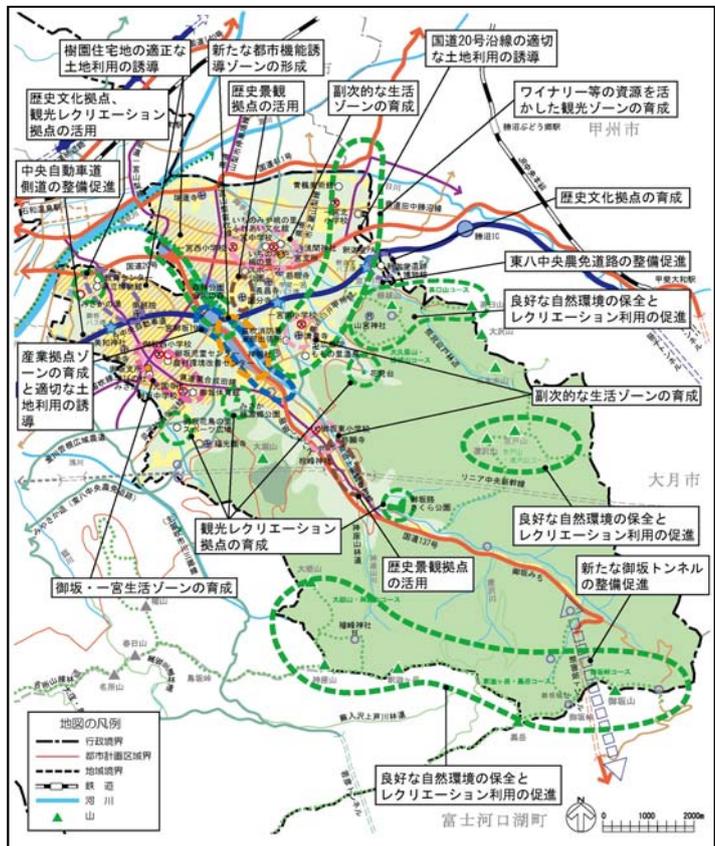
- 地域の資源・自然を活かすまちづくり
- 桃と桃源郷の風景を大切にすまちづくり
- 元気、感動、生きがいのもてるまちづくり
- 安全・安心で快適に暮らせるまちづくり

まちづくりの基本方針

- ①日本一の桃源郷にふさわしい地域農業の活性化
- ②豊かな樹園や自然と共生する計画的な土地利用の推進
- ③生活ゾーンなど多様なまちの拠点の育成と地域の活性化
- ④地域間を連絡する骨格道路網の機能強化と交通利便性の向上
- ⑤災害に強く、安心・快適な住環境の整備・改善・充実
- ⑥桃源郷の美しい風景と豊かな自然、固有の歴史・文化の保全とまちづくりへの活用

将来像

みどり豊かな山々と桃源郷の風景に 囲まれながら快適で心豊かに暮らせるまち



(3)西部樹園居住地域 (八代・境川地域)

まちづくりの目標

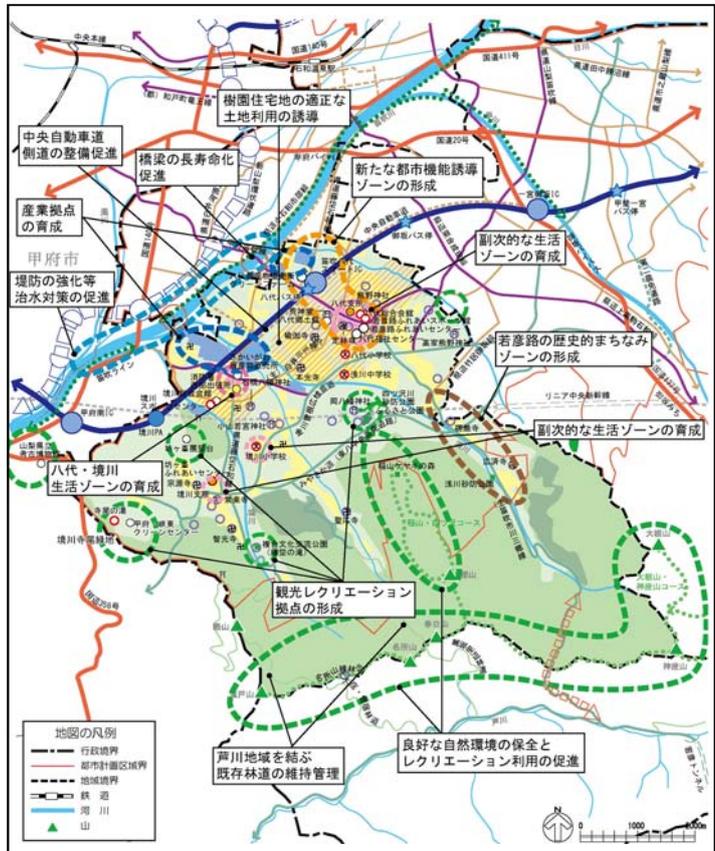
- 地域の交流が活発で、良いところを共有し合うまちづくり
- 地域の個性、魅力を育み、活かし行動するまちづくり
- 恵まれた環境を守り、子ども達が元気に育つまちづくり
- 地域で助け合い、支え合うまちづくり

まちづくりの基本方針

- ①果実の郷にふさわしい地域農業の活性化
- ②豊かな自然環境と調和し、果実の郷にふさわしい計画的な土地利用の推進
- ③地域の特色を生かしたまちの拠点の育成と交流の促進による地域の活性化
- ④地域間を連絡する骨格道路網の機能強化と交通利便性の向上
- ⑤災害に強く、安心・快適な住環境の整備・改善・充実
- ⑥自然・歴史文化など、地域の魅力の再認識とまちづくりへの活用

将来像

自然がいっぱい!! みんな元気!
心豊かな暮らしを大切に育むまち



(4)里山居住地域 (芦川地域)

まちづくりの目標

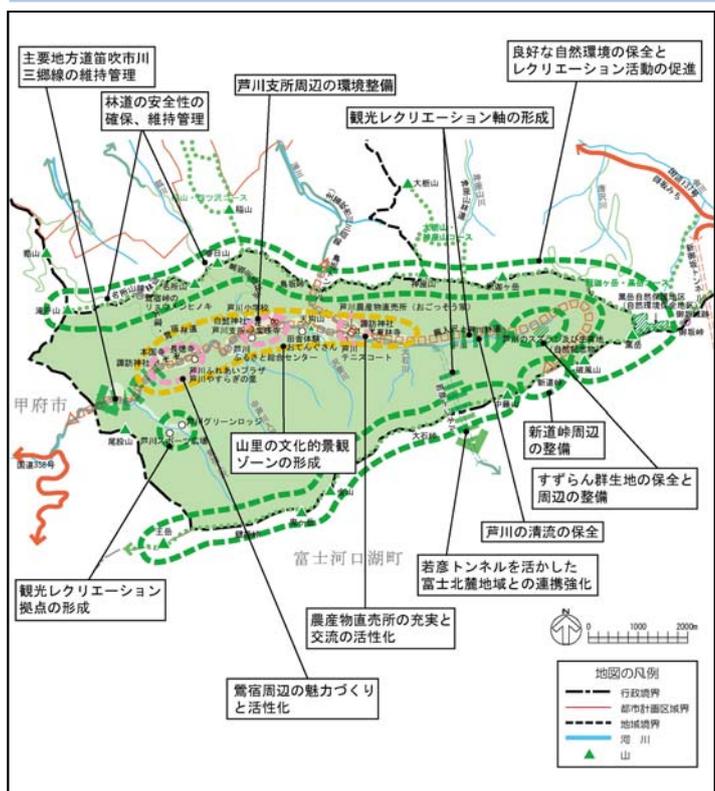
- おいしい水と空気、美しい環境を守り育むまちづくり
- ふるさとの原風景を守り地域の知恵を子ども達へ継承するまちづくり
- 小さな“里”から豊かな気持ちを発信し交流するまちづくり
- みんな元気! とともに助け合い結びあうまちづくり

まちづくりの基本方針

- ①風景博物館としての里山の美しい景観の保全とまちづくりへの活用
- ②特色ある地域資源を活用した地域の魅力づくり・活性化
- ③防災に配慮した骨格道路の維持管理と交通利便性の向上
- ④災害に強く、安心して暮らせる生活環境の整備・改善・充実

将来像

あたたかさと安らぎある山里の交流を育むまち

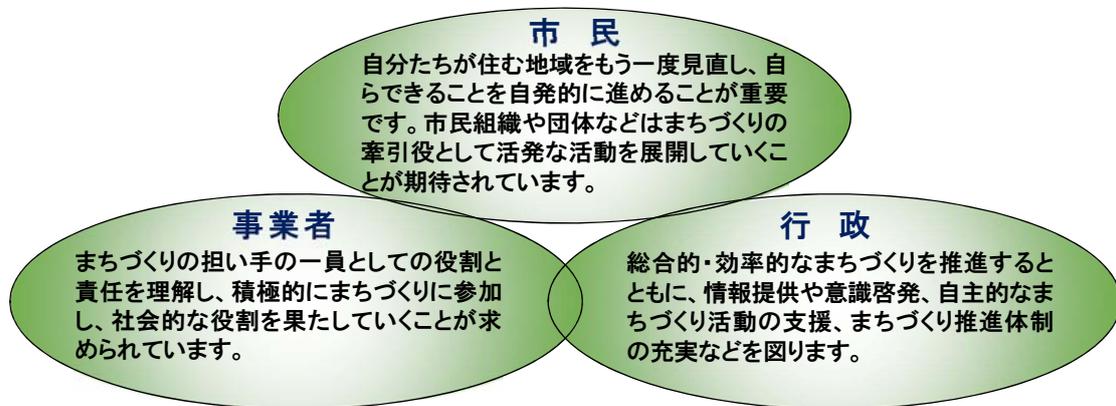


5. 計画の実現に向けて

(1) まちづくりの基本的な考え方

「人を育て、縁を結びあう協働のまちづくり」

協働によるまちづくりを進めます。



(2) 計画の実現に向けた施策



■お問合せ

笛吹市 建設部 まちづくり整備課

〒406-8510 山梨県笛吹市石和町市部 777
 TEL 055-261-3334 FAX 055-261-3335
 URL <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>